昭和十三年八月八日

（各國新聞論調概要號外）

張鼓峰事件特輯號㈡

外務省情報部

（執務參考用ニ付取扱注意アリタシ）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

目次

A 支那

△紛爭重大化ノ危險ハ充分

△日蘇ハ如何ニ解決スヘキカ

B 米國

△獨逸ハ日本ノ爲ニ戰ハス

△戰爭ノ危機ハ偶發的事件ノ發展

△双方カ退カネハ戰爭ニ展開

△日蘇開戰ハ日支ノ均勢ニ大影響

△事件ノ重大化ヲ防ク道アリ

△蘇聯ノ對歐關係カ重要點

△歐亞ヲ切離セヌ鬪爭ニ捲込ム事件

△乾岔子事件ヨリ危險ナ形勢

△國境事件ノ今後ノ成行カ見物

C 佛國

△支那事變ニ切リヲツケルカ肝心

△事態カ如何ニナッテモ佛ハ無關係

△株式相場ニ大反動ナシ

D伊國

△日本ノ一撃テ引込ムノカ蘇聯

E蘇聯

△侵略者ニハ擧國祖國防禦

△全國擧ッテ反「ファショ」氣勢

△日本ノ挑戰繼續テ重大結果

△支那回教徒、反日戰線結成

△驚クヘキ反日記事ヲ報道

Fポーランド

△對米危險ニ自重スル日本

△紛爭ノ將來ノ見透ハ困難

Gスイス

△盧溝橋事件ノ二ノ舞カ

△極東ノ紛爭ニハ絶對不干與

H スエーデン

△「ブリユツヘル」ノ出方ヲ重視

△問題ノ鍵ハ「ブリユツヘル」ニ

△對蘇戰ハ日本ノ自殺行爲

I スペイン（フランコ側）

△日本ノ戰爭準備充實ニ驚ク蘇聯

△世界ノ危機ハ「コミンテルン」ヨリ

J アルゼンチン

△双方共ニ開戰ハ不可能カ

概要追加 (一)

A 英國

△恐ラク戰爭迄ニ發展スマイ

B 米國

△結局ハ武裝的休戰テ落着カ

△大規模ノ戰爭ニ發展セヌ

C カナダ

△日本ハ事變ノ擴大ヲ挑發セヌ

△日蘇共ニ戰意ヲ缺ク

△蘇聯ノ牽制テ長引ク日支戰

△今コソ蘇聯對日挑戰ノ潮時

D 蘇聯

△戰況ノ發表ヲ差控フ

E ポーランド

△蘇聯最高軍事會議テ和戰論

△最高會議テ和戰兩論ハ解決

F オランダ

△一方カ折レネハ多分ニ戰爭ノ可能性

G 蘭印

△事件ノ遷延テ支那援助

△孫科ノ莫斯科訪問ノ効果カ

H シアム

△日佛通商協定ヲ望ム

△南方諸國ノ危機去ルカ

I アルゼンチン

△蘇聯側發表ノ地圖ニ疑問

△日本ヨリ交戰中止ノ新提案

△無宣戰ヲ見習ツタ蘇聯

概要追加 (二)

A 米國

△日本ヲ操ル黒幕ノ處分ハ如何

B 獨逸

△世界平和攪亂ノ放火

△日本ニ挑戰スル蘇聯ノ肚ノ中

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

△紛爭ハ數日中ニ解決サレン

△佛外相、在佛蘇聯大使會談

C佛國

△佛紙論調一束

D蘇聯

△北樺太新聞初ノ報道

Eスイス

△關東軍獨自ノ行動ニ注意

△從來ノ戰略ヲ變更シタ蘇聯

F濠洲

△日蘇何レカ先ニ開戰スルカ

△日本ハ獨逸ノ尻押テ動クカ

△日蘇兩國ノ不利ト有利

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

A 支那

△紛爭重大化ノ危險ハ充分

蘇聯ハ戰爭ヲ欲シナイカラ、外交交渉ニ依ル解決ハ今猶望カアル。然シ列強中ニハ紛爭ニ干渉又ハ調停スルモノハナク、却テ一方ヲ聲援スルモノモアルカラ、重大化ス危險ハ充分アル（八月四日香港モーニング。ポスト紙）

△日蘇ハ如何ニ解決スヘキカ

日蘇兩國ハ事態ヲ重大化サセヌタメ、兩國前線ノ將校ヲ自重サセ、既ニ手遲レトナツタ。戰爭不可避ノ場合ハ之ヲ極東ニ限定スルヤウ努力シ、外交ニ依ル解決カ望薄トナツタ場合ハ、英米佛三國ハ共同聲明ヲ發シテ、紛爭ニ依リ自國ノ政治的計畫ヲ遂行セントスル者ヲ抑フヘキテアル（八月四日香港テレグラフ紙）

B 米國

△獨逸ハ日本ノ爲ニ戰ハス